

# 八王子市立第五小学校 「平成20年度授業改善推進プラン」

## 【八王子市教育委員会教育目標】

「あふれる元気」 健康な心身・活力  
 「かがやく心」 豊かな知性と感性・個性  
 「仲間とともに」 協調性・社会性  
 「はばたけ未来へ」 意欲・積極性の育成に向けた教育を推進する。

## 【教育目標】

健康で明るい子ども  
 よく考えてやりぬく子  
 思いやりをもち助け合う子

### 1 地域の実態

- ・共働きの家庭が多いが学校への期待はおおきい。
- ・PTA活動等が活発で教育活動全般についても大変協力的である。

### 2 地域住民・保護者の期待や願い

- ・個性を尊重し「生きる力」と豊かな人間性の育成。
- ・基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図り、一人一人の児童が確かな学力を身につけること。

### 3 期待される児童像

- ・心身ともに健康で充実した生活を送る児童。
- ・自ら学習課題をもち意欲的に学ぶ児童。
- ・よりよい生き方を求める児童。

《本校の現状》（「八王子市学力定着度調査」「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果から分析できること）

### 【国語】

全体的にどの観点についても市の平均をうまわり、普段の授業の中で落ち着いた授業が行われている成果と考える。  
 「関心・意欲・態度」「話す・聞く」能力については、しだいに伸びてきており校内研究の成果と考えられる。しかし、他人の考えを注意深く聞き取ったり、論理的に話し考えを深めたりできる児童は多くはない。  
 「書く」「読む」の能力についてもさほど悪くはないものの、相手や目的に応じて工夫して書いたり、文章構成や語句の使い方などを手がかりに筆者の考えを深く捉えたりすることが弱く今後の課題である。  
 「言語についての知識・理解・技能」については、個人差も大きく漢字の読み・書き・筆順等について繰り返し練習すると同時に練習できる場の工夫が必要である。また、日常的に辞書活用やさまざまな言語が児童の身近になるよう言語環境の工夫も課題となる。

### 【社会】

「関心・意欲・態度」「思考・判断」「知識・理解」とも、平均的であるが、「資料活用・技能表現」の能力に弱さがあり、体験的活動や資料の読み取りの工夫・具体的な資料活用の方法の指導が重ねて必要である。

### 【算数】

「関心・意欲・態度」「知識・理解」については、平均的であるが、「数学的に考え方」「表現・処理」の能力がやや劣る。中学年までの四則計算の徹底や高学年での応用問題の練習が必要であり、それに加え、図形などの具体的操作の場面も時間的な確保をしていきたい。  
 学年によっても多少異なるが、全体的に見て能力の高い児童が多くいる反面、基礎学力が定着していない児童もかなりいる。特に「数と計算」の領域の学習では個の能力に応じた個別学習指導を大切にしていける必要がある。

### 【理科】

【関心・意欲・態度】「技能・表現」については、平均を上回っているが「科学的思考力」「知識・理解」についてはや

## 《本年度本校における学力向上のための重点方針》

校内研究の充実を図り、話す聞く力を育てる学習を通し、「学び合いの中で、自分を表現できる子ども」の育成をはかる。

指導方法を見直し、一人一人に応じてきめ細かい指導を工夫し基礎・基本の確実な定着を図る。

算数科においては、少人数指導（習熟度別）や夏季補習授業を通し、基礎・基本の定着を図る。

学習ボランティアやインターンシップを有効に活用し、意図的・計画的な学習活動を工夫する。

## 《本年度の学力向上の具体策》（いつまでに、どの程度）

### 【国語】

「話す・聞く」の力を育てるため、国語科でより効果的な指導法を追求すると同時に日常生活の中で言語環境を整えることと、1年生から6年生までの系統的な指導の在り方についてプラス10時間の使い方を決め、2学期からそれらを実施できるようにする。

読む力や読書の習慣をつけるために、音読カードの活用、読書時間の確保、一斉朝読書と授業のつながりなどを工夫して行う。年間30回以上の「朝読書」と保護者による週1回の「読み聞かせ」を継続し、保護者にも「親子読書」への理解と協力を呼びかける。

漢字力、表記力を高めるため、書写や視写、作文指導を通して、正しくきれいに書く習慣を身につけさせる。また、日常的に辞書を活用することや授業の5分間を使い詩・俳句・短歌等のさまざまな作品に親しませ言語環境を整える。さらに、学年末には漢字進級テストを行い漢字力の定着を図る。合格できなかった児童には、個別に支援していく。

### 【社会】

資料の読み取りや活用の技能・表現力を身につけるため、グラフの読み取りを単純な読み取りからいろいろな視点からの読み取りと丁寧に指導したり、学習新聞を作成する中で具体的に個に応じた指導、支援を行う。

### 【算数】

図形の領域では、作業的・体験的な活動を重視して、図形に親しみ豊かな感覚を育てていく。  
 計算力を確実につけるため、反復練習や定期的に復習問題を行いながら一人一人の学習状況に応じた指導・支援を行う。

応用力をつけるため類似問題の反復練習や問題処理のため筋道を立てた考え方の指導など指導時間を計画的に確保した指導を行う。

## 《学力向上の成果の検証及びその評価方法》

各学年後との、教科別授業改善プランを学期毎に検証し改善策を作成していく。

校内研究において、研究授業について分析・協議して「児童の実態の変容」や「教員の指導法」について検証していく。

日々の授業観察を多くし、その都度面接して指導の検証を行うと同時に、公開授業を教員全員に設定して互いに研鑽市合う。

学校公開日には、保護者・学校評議員による授業アンケートを実施する。また、保護者による学校評価において授業や子どもの学習意欲に関する項目を設け結果を公表していく。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

(第1学年)

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	・話す力・聞く力を身に付けさせていく。 ・ひらがなが正しく書けるようになった。	・国語時数のプラス10時間を活用。 【音読】 口形・発音・声の大きさに注意して、正しく音読ができるようにする。 ・聞き手・話し手の立場を経験させ、正しく伝え合う力を高めていく	音楽	・いろいろな楽器の奏法を身に付けさせたい。	・器楽活動で基本的な奏法が身に付けられるよう計画していく。
社会			図工	・描いたり、作ったりするための技法を身に付けさせる。	・基礎的な技法を身に付けさせ、作り出す喜びを知らせる。
算数	・たし算やひき算の力をつける。	・計算プリントや100マス計算などを通して、計算力の習熟を図る。	家庭		
理科			体育	・集団で運動することの楽しさを味わわせていきたい。	・集団で運動することで、ゲームをする楽しさ身体を動かす楽しさを味わわせる。
生活	・自然や人との関わりなどの機会が、やや足りない。	・身近な自然、伝統行事、地域の人々との触れ合いなどの活動を計画的に取り入れていく。 ・2年生との異学年交流を通して、体験活動を豊かにしていく。(伝え合う活	総合的な学習の時間		

その他(道徳・特別活動等)

- ・安心して自分の考えを発表できるクラスづくりの中で、身近な題材の教材化により、道徳的实践力を高める。
- ・話し合いの仕方・進め方を学ばせ、自分の意見を安心して言える集団経営に努める。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

(第2学年)

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	・順序よく話したり、大切なことを落とさず聞き取ったりする力が不十分である。	・国語時数のプラス10時間を活用。 【音読】 「話し方・聞き方ワーク」を使って、順序よく話す練習をしたり、音読をさせたりして声を出す場を設ける。	音楽	・鑑賞の時間がやや少なかった。	・何回か鑑賞させ、曲に親しませたい
社会			図工	・自分から進んで表現の幅を広げようとする児童が少ない。	・体験をさせたり、観察をしたりしている いろいろな手法を使って描く工夫をする。
算数	・正確に問題を解いたり、計算したりすることが不十分である。	・毎日の100マス計算、四則計算の習熟の場を増やす。 ・見通しの徹底をはかる。	家庭		
理科			体育	・運動の経験のかたよりが見られる。	・いろいろな動きや運動に取り組みませ
生活	・さまざまな物に触れ体験する機械が、やや不足している。	・伝統的行事・地域の人々との交流を計画的に取り入れていく。	総合的な学習の時間		

その他(道徳・特別活動等)

- ・心のノートの活用が少なかった。
- ・道徳の時間以外でも、心のノートを活用し自己を振り返る学習を取り入れる。
- ・話し合い活動がまだまだできない。
- ・司会や意見の言い方等の指導に努める。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

(第3学年)

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	・人前で話すことが不得手な児童が多い。 ・新漢字が多く、習熟させることが難しい。	・国語時数のフリースト時間を活用。 【音読】 詩の音読を通して、発声を高めるようにする。 ・朝の学習の時間や宿題を工夫して、習熟を図る。	音楽	音楽に対して意欲的に活動しようとしている。しかしリズムや音符の音価に対する理解の定着は不十分である。リコーダー学習ではタンギング・運指は概ね理解し定着してきている。	ボディーパーカッションなどでリズム学習を多く取り入れ指導する。ハンドサインなどを用いて音程感覚を養い歌唱活動に重点をおいた指導を行う。
社会	・屋上からの観察ができず、学区の様子が理解しづらかった。	・屋上からの眺めをビデオ撮影するなど、視聴覚教材を作製するようにする。	図工	意欲的に絵を描いたり、物を作ったりしようとする児童が多い。しかし、じっくり丁寧に作ることが苦手な児童がいる。	道具の正しい使い方を指導する。個別指導で、一人一人の表現したいことに合った具体的な表現方法を指導し、意欲や関心が高まるようにする。
算数	・計算力など、個人差が大きく、一斉授業では、習熟が難しい。	・児童の習熟度に合った課題が与えられるよう、習熟度別クラス編成をした少人数授業を行う。	家庭		
理科	・生物教材の観察では、カードをかき、全体発表をするだけで終わってしまった。	・観察をしていく中での児童の気付きを追究し、深めていきたい。	体育	・継続して運動を身につけることが難しかった。	・カードなどを用い、日常的に自分の目標に向かって運動できるようにする。
生活			総合的な学習の時間	・決められた課題については、調べたり、発表したりすることができた。	・観察や体験の中から、自主的に課題を見つけ、調べまとめることができるようにする。

その他（道徳・特別活動等）

- ・道徳の時間に学んだことが、実践にむすびつかない。
- ・資料や講話だけでなく、体験を取り入れた授業を増やし、道徳的实践力を高めたい。
- ・係活動は活発にできたが、クラス全体での話し合いをもっと活発にしたい。
- ・2学期以降に行われる児童会行事などを通して、話し合いを活発にし、クラスのまとまりもつくっていく。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

(第4学年)

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合う活動を進める中で話し合う姿勢が出てきた。</li> <li>グループでは発言ができるが、全体では難しい児童がいる。</li> <li>文章の内容を読みとる力が弱く、文章等の表現力も弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語時数プラスの10分間を活用。</li> <li>【音読】論理的な文章の音読を入れ、表現力や構成力を高める。</li> <li>話し方カードを活用することで、話し合いの方法を学ばせていく。</li> </ul>	音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>旋律や副次的な旋律を演奏することは十分できている。</li> <li>器楽演奏での奏法がまだ十分に定着していない。</li> <li>即興表現に苦手意識をもっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現の多様な方法を工夫できるように学習形態を工夫する。</li> <li>全員がすべての楽器を演奏する機会を作り奏法について全体、個別で指導を行う。</li> <li>短いフレーズを使い変奏などから即興表現できるように指導を行う。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道キャラバンなど体験的な授業を取り入れることで、意欲的に取り組めるようになった。</li> <li>資料の読み取りの力や活用する力が弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の読み取りや活用の活動に繰り返し取り組み、慣れさせるようにする。</li> </ul>	図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に絵を描いたり、物を作ったりしようとする児童が多い。</li> <li>しかし、じっくり丁寧に作ることが苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道具の正しい使い方を指導する。</li> <li>個別指導で、一人一人の表現したいことに合った具体的な表現方法を指導し、意欲や関心が高まるようにする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算力や理解力が弱い児童が見られる。</li> <li>文章題で聞かれていることが分かりづらい児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習問題やドリルに取り組む時間を多くつくる。</li> <li>単元終了後も復習の時間を取る。</li> </ul>	家庭	/	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決学習の流れが身に付いていない。</li> <li>観察に意欲的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ活動から始めて少しずつ、問題解決学習の流れを身に付ける。</li> </ul>	体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>一つ一つの技の習得にさがある。</li> <li>体力や柔軟性に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな運動に親しませるようにする。</li> <li>基本の運動を多く取り入れるようにする。</li> </ul>
生活	/		総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験的な学習を取り入れ、児童が意欲的に活動できた。</li> <li>児童が課題設定をする場が少なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が課題設定をする場を多くつくり、自発的な活動ができるようにする。</li> </ul>
<p>その他(道徳・特別活動等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>心のノートの活用が不十分。心のノートを十分活用するようにする。</li> <li>児童が司会や記録をし、自分たちで会を進める方法を学んだ。</li> <li>話し合いの進め方がまだまだ未熟である。</li> <li>話し合い活動を自分たちで進めさせる中で、話し合いの方法を学ばせる。</li> <li>児童会役員選挙などを通して、責任をもって活動できるようにする。</li> </ul>					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

(第5学年)

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適切な声の大きさと話したり、場に合った適切な言葉遣いで話すことができない。</li> <li>・ 筋道を立てて話したり、正しく聞き取ったりする力が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国語時数のプラス10時間の活用。【音読】 声を出す抵抗感を少なくしたり、正しいことばづかいや表現をしたりできるように音読に取り組む。</li> <li>・ 発表する場を計画的に数多く取り入れ、相手意識や目的意識をもたせて話す指導に力を入れる。</li> </ul>	音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌唱、器楽活動に意欲的に活動を行うが、技能面での差が大きい。創作活動において非常に力を発揮することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小グループでの活動を多く取り入れて個別指導が行えるように指導する。創作活動で発揮する表現の工夫を歌唱、器楽活動につながるように教材を工夫する。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料の読み取り・分析・活用などの能力が十分とはいえない。</li> <li>・ 社会科の中で出てくる用語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料活用指導の場を確保し、資料から読み取れる内容について考えさせる場面を多くもつ。</li> <li>・ 普段から社会事象に目を向けさせたり、用語の説明をしたりする等して、児童の理解を図る。</li> </ul>	図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意欲的に取り組む児童が多いが、苦手意識を持っていて意欲的でない児童もいる。技術力や表現力の差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実用的な物を作るなど関心をもちやすい題材に取り組みせ、個別に道具の使い方や表現の例を示すことにより、技術力や表現力の向上をはかる。鑑賞の授業を通し、作品を見る力・感じる力・友だちの良さを見つける力を育てる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文章題の意図を読み取れず、立式が難しい児童が多い。</li> <li>・ また、計算力が十分とはいえない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 反復による基礎的計算力を伸ばすと同時に、文章題における式のたて方について考えさせる。また、式の根拠について児童自身に述べさせ、理解を深める。</li> </ul>	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術の個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 練習を重ねる。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の学習に対する意欲が高く、様々な事象について熱心に取り組む児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 興味・関心がより高まるように、教材・教具の工夫をする。そして、それまで学習で得た知識を生かしてポイントを分かりやすくし、仮説をたてながら考える学習を進めていく。</li> </ul>	体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 走・投・跳をはじめとする体力向上や技能向上へ向かう意欲が十分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術や体力の向上に目を向けさせ、目標に向けて活動するための教具や学習カードの工夫を取り入れる。また、体を動かすことを楽しく感じられるように、児童同士が良さを認めあえる場の工夫をする。</li> </ul>
生活			総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童が意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べ学習や体験学習への取り組みを通して児童の生きる力を育てていきたい。</li> <li>・ 栽培活動を通して、豊かな心を育てていきたい。</li> </ul>

その他(道徳・特別活動等)

道徳・・・道徳的判断力や実践力が十分とはいえない。また、互いの個性に対して認め合おうとする意識が芽生えつつある。  
日常生活の身近な問題を取り上げたり、心のノートを活用し定期的に自己を振り返る学習を取り入れる。

特別活動等・・・お互いに意見を交換し合ったり認め合ったりしながら、集団を向上させていこうとする意識、姿勢が十分とはいえない。  
集団の一員である意識や高学年としての責任なども考えさせ、安心して自分の考えが言える学級経営に努める。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

(第6学年)

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>思いや意図を相手に的確に伝えたり聞き取ったりする力が弱い。</li> <li>読み取ったり、聞き取ったりしたことを幅広く考えたり、深め</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語時数のプラス10時間の活用。【音読】</li> <li>話す抵抗感をなくするための音読の取り組み。</li> <li>思いや意図を的確に伝えるための構成や表現方法に注意した音読の取り組み。</li> <li>話し合い活動の場を増やし、話し合いのさ</li> </ul>	音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱、器楽活動に意欲的に活動を行うが、技能面での差が大きい。創作活動において非常に力を発揮することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小グループでの活動を多く取り入れて個別指導が行えるように指導する。創作活動で発揮する表現の工夫を歌唱、器楽活動につながるように教材を工夫する。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史に対する関心のもち方に個人差が大きい。</li> <li>資料の見方、読み取り方が十分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視聴覚教材を多めに準備して学ばせたり資料の読み取り方を工夫していく。また</li> <li>課題を設定して調べ学習をし、その結果を授業に活用していく。</li> </ul>	図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に取り組む児童が多いが、苦手意識を持っていて意欲的でない児童もいる。技術力や表現力の差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実用的な物を作るなど関心をもちやすい題材に取り組みせ、個別に道具の使い方や表現の例を示すことにより、技術力や表現力の向上をはかる。鑑賞の授業を通して、作品を見る力・感じる力・友だちの良さを見つける力を育てる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>四則計算など基礎・基本の定着が不十分な児童も見られる。</li> <li>知識・理解面はある程度、力がついている児童が多いが、応用力に乏しい。</li> <li>応用問題をしっかりと指導できる時間の確保が不十分で</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の算数時数(標準時数+10)を利用し、小数のかけ算わり算・公倍数公約数・分数の計算・割合・速さ・体積・単位</li> <li>量・比・比例・面積について応用問題の時間を1時間計画的につくる。</li> </ul>	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分から進んで表現の幅を広げようとする児童が少なく、表現の仕方が画一的である。</li> <li>鑑賞教育の指導の場が十分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちの作品の良さや面白さなどを見つける活動を通して、作品を見る力、感じる力、味わう力、語る力を育てていく。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察・実験に課題を明確に持って、対応する子とそうでない子がいる。</li> <li>課題を明確にもてない子は観察・実験のまとめもうまくできない。</li> <li>課題解決学習をしっかりと確保したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察・実験前の課題把握の指導と段階的な指導を大切にしていく。</li> </ul>	体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動には前向きに取り組むが、めあてをもって取り組めていない児童もいる。</li> <li>めあてをしっかりともてるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習カードや場の工夫によって技能を高め、個やチームにあっためあてに向かって学習させる。</li> </ul>
生活			総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題把握やねらいの理解が十分でなく、調べ学習に行きづまる。調べていく過程に発展性がない。</li> <li>課題把握、設定のための時間はとれているが、調べている過程で内容を発展させるための時間がとれていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に何についての学習なのか確認し、自分の課題を設定させる。常に、多角的に物事を考えていけるよう考えの道筋、わかったことの道筋がわかるようなワークシートの工夫をする。</li> </ul>

その他(道徳・特別活動等)

- 最高学年としての自覚をもって、自ら考え判断し行動する力が弱い。道徳的実践力が身につけられるような発展的・系統的な授業計画が十分でない。
- 身近な素材にも目を向け、具体的・発展的・系統的に指導を行う。
- 最高学年としての「役割と責任」が果たせるよう、自分たちの生活の中で自覚がもてる経験、身近に感じられる場面の資料を用意し、自分の考えをもって行動ができる実践力が身につく学習計画を立てる。